

【京都大学 大学院人間・環境学研究科 人間・環境学専攻 東アジア文明論講座 (准教授) 公募】

2026年2月12日

職種	准教授
募集人員	1名
所属および勤務場所	<p>教員組織：京都大学人間・環境学系</p> <p>教育研究組織：京都大学大学院人間・環境学研究科 人間・環境学専攻 東アジア文明論講座（所在地：京都市左京区吉田二本松町）</p> <p>（変更の範囲）大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等</p>
専門分野	東洋史（特に秦漢～隋唐）
職務内容、担当授業科目など	<p>京都大学の業務（教育・研究・運営）</p> <p>【担当授業科目】（いずれも原則として半期科目）および論文指導</p> <p>(1) 大学院人間・環境学研究科：中国史論I、東アジア文化論演習3、共生文明学研究I・II（ともに前・後期各1コマ）など</p> <p>(2) 総合人間学部：中国史論I、中国史論演習 I（ともに前・後期各1コマ）、基礎演習：中国史の基礎資料（後期1コマ）など</p> <p>(3) 全学共通科目：東洋史I、東洋史II（ともに前・後期2コマ）、ILASセミナー（前期1コマ）、東洋史基礎ゼミナールI（後期1コマ）</p> <p>*以上に加えて、本公募要領の「その他」欄に記載のダブルアポイントメント教員としての職務を担う可能性がある。</p>
応募資格	<p>次のすべての条件を満たすこと</p> <p>(1) 専門分野における博士の学位を有するか、またはこれと同等の研究業績を有すること</p> <p>(2) 専門分野における十分な研究遂行能力を有すること</p> <p>(3) 大学院・学部での教育・指導を行う能力を有するとともに、これに積極的に取り組み大きく貢献できること</p> <p>(4) 全学共通科目の担当や学内諸業務を熱意と責任感を持って行う能力を有すること</p> <p>(5) 大学における東洋史もしくは東洋史関連科目の教育歴を有することが望ましい</p> <p>(6) 本学における東洋史の教育・研究に積極的に取り組み大きく貢献できること</p> <p>(7) 日本語母語話者でない場合は、教育や学内諸業務を担うに十二分な日本語運用能力を有すること</p>
雇用開始日	令和9年4月1日
任期	なし
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	<p>専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）</p> <p>※専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00）</p> <p>※超過勤務を命じる場合あり</p> <p>休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日</p>
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給

社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
提出書類	<p>(1) 履歴書 6 部：（様式自由。高等学校卒業以降の学歴・職歴、担当経験のある科目とその内容、電話番号、電子メールアドレス、所属学会を記載すること。）</p> <p>(2) 研究業績一覧 6 部：（著書（単著）、著書（共著）、論文（査読あり）、論文（査読なし）、学会発表、その他に分け、発表順に記載。出版予定のものについては、出版証明書等を添えること。また、科学研究費補助金など競争的資金の獲得状況についても記載すること。）</p> <p>(3) これまでの研究の概要と今後の計画 6 部：（日本語で 2,000 字程度）</p> <p>(4) 専門科目を担当するにあたっての抱負・意見 6 部：（日本語で 2,000 字程度）</p> <p>(5) 全学共通科目としての東洋史を担当するにあたっての抱負・意見 6 部：（日本語で 2,000 語程度とその日本語訳）</p> <p>(6) 応募者について照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（電話番号および電子メールアドレス） 6 部</p> <p>(7) 主たる研究業績 5 点 6 部： 抜き刷り・コピー可。5 点ともに 200～400 字程度の日本語要約を付ける。</p> <p>なお、提出書類は原則として返却しませんが、著書・博士論文等については申し出があれば着払いにて返送します。</p>
書類送付先	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科長宛 *提出方法は郵送（書留便）もしくは宅配便に限ります。封筒または封緘した包みの表に「東アジア文明論講座東洋史教員応募書類在中」と朱書きし送付のこと。
応募締め切り	2026年4月30日（木）必着
選考方法	提出書類に基づいて選考します。選考の過程で面接を行うことがあります。また、面接の際に模擬授業をしていただく場合があります。その際の旅費・滞在費等は応募者の自己負担とします。ただし面接をオンラインで行う場合もあります。選考結果は、人間・環境学系会議決定後に通知します。
問合せ先	京都大学人間・環境学系（大学院人間・環境学研究科） 東アジア文明論講座 太田 出 E-mail: ota.izuru.6v*kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください。） なお、電子メール以外による問い合わせは受け付けません。
男女共同参画	京都大学は男女共同参画を推進しています。「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。また、様々なライフイベントに伴う休業期間がある場合、理由明記の上、履歴書に休業の旨記載できます（男女を問わず）。審査の際に休業中の業績については、休業期間の前後と等しい業績を上げたものとみなします。
その他	提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 人間・環境学研究科については下記の web ページをご覧ください。 https://www.h.kyoto-u.ac.jp/ 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。 なお着任後に一定期間、地球環境学堂に異動し、人間・環境学研究科とのダブルアポイントメント（両任）教員となっただけ場合があります。